

# 令和4年度 学校自己評価システムシート(武南高等学校)

目指す学校像	豊かな人間性の確立を目指し、学力の向上、健康な心身の育成を図り、志を高く持ち、21世紀の社会に貢献できる自主・自立・自学・協同の精神に満ちた生徒を育成する。
--------	--

重 点 目 標	1 授業の充実・指導改善 2 開かれた学校づくりの推進 3 学力の向上と希望進路の実現 4 品格ある生徒の育成 5 特別活動、部活動の充実と振興
---------	---

達成度	A ほぼ達成(8割以上)
	B 概ね達成(6割以上)
	C 変化の兆し(4割以上)
	D 不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校関係者 4名

学 校 自 己 評 価				令和4年度評価(3月8日現在)			
年 度 目 標				実施日 令和5年3月22日			
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	授業の充実・指導改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究を一層進め、授業改善を一層図る必要がある。</li> <li>生徒の家庭学習時間を増やし、学力の向上につなげる必要がある。</li> <li>論理的思考力や表現力を向上させる手立てが必要である。</li> <li>他校の情報を得る機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業見学週間に活用し相互に授業参観を行い、意見交換を行う。</li> <li>管理職全員による授業観察を実施し、教職員にフィードバックする。</li> <li>生徒による授業評価を行い、その結果を教科会で共有し改善を図る。</li> <li>他校への視察や研修会に積極的に参加し、授業の様々な手法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業観察週間ににおける相互の授業参観の回数や意見交換の内容等。</li> <li>管理職による授業観察の回数とフィードバックの内容等。</li> <li>生徒による授業評価の実施と教科で共有ができたか。</li> <li>他校への視察の回数と研修会等への参加状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究週間ににおける教員相互の授業観察は定着しつつあるが、全員が見て授業改善に役立てる体制を取る必要がある。</li> <li>生徒による授業評価を個人内だけでなく、教科ごとに研究・検討をする必要がある。</li> <li>異文化プロジェクトで、広尾学園等を訪問したが、今後も積極的に情報を得る必要がある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業観察週間ににおける相互の授業参観は定着しつつあるが、全員が見て授業改善に役立てる体制を取る必要がある。</li> <li>生徒による授業評価を個人内だけでなく、教科ごとに研究・検討をする必要がある。</li> <li>異文化プロジェクトで、広尾学園等を訪問したが、今後も積極的に情報を得る必要がある。</li> </ul>
2	開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により、蕨東中学校との交流授業が実施できていない。</li> <li>蕨・川口地区的地域に開かれた取り組みを進める必要がある。</li> <li>ホームページの充実を図るとともに、SNSの活用の検討を行う。</li> <li>学校の教育活動を発信することが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蕨東中への「高校の授業体験」を実現させる。ICTの活用も検討。</li> <li>中学校訪問による情報提供の機会を広げ、入試情報の提供を行う。</li> <li>ホームページの更新の機会を増やし、情報の発信に努める。</li> <li>学園便りを新たに発行するとともに公式SNSの活用を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蕨東中との交流授業の実施の有無と生徒へのアンケート結果。</li> <li>中学校への学校訪問と情報提供の回数等はどれくらいであったか。</li> <li>ホームページの更新回数と閲覧状況等はどれくらいであったか。</li> <li>新しい学園通信やICTのツールは活用できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響で蕨東中の交流は未実施。</li> <li>保護者対象学校公開を3回実施した。</li> <li>中学校を訪問し広報誌を南部地区の中学校3年139校32,500人に配布</li> <li>ホームページの更新回数は50回、本校の魅力を発信した。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍ではあるが、市内の小中学校との交流の方策を引き続い検討する必要がある。</li> <li>引き続き、中学校を訪問し適切な情報の提供に努める。</li> <li>ホームページを適宜更新し、最新の情報の提供に努める。</li> <li>学園通信は1号まで発行済み。公式Instagram等の研究、検討を続ける。</li> </ul>
3	学力の向上と希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>予習、復習を徹底する生徒の割合を増加させる必要がある。</li> <li>生徒の家庭学習時間増やし、学力の向上につなげる必要がある。</li> <li>希望進路の目標が低く安易な進路選択をする生徒への対応が必要。</li> <li>生徒の進路の幅を広げ、国公立大学進学のための取り組みを充実させる必要がある。</li> <li>組織的な講習会の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に「予習→授業→復習」を意識させた授業作りを一層進め。</li> <li>教科で「週末課題」等の実施により家庭学習時間の増加につなげる。</li> <li>社会人から学ぶや、各コース別進路ガイダンスや説明会等を実施する。</li> <li>生徒の志を高めるために講演会や説明会への参加を促す。</li> <li>進路指導部と教科で実効性のある授業とリンクした講習計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業評価で予習の割合。</li> <li>家庭学習時間の増加の割合。</li> <li>各種講座や説明会の実施回数とアンケート結果。</li> <li>講習の講座数と生徒の参加状況。</li> <li>一般受験の生徒数と国公立大学の志願者数。</li> <li>国公立大学、難関私立大学の合格者数。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2回の授業研究週間に47時間の相互の授業観察を行い、授業改善につなげた。</li> <li>3学年で15回講座を開催し、生徒の進路指導に役立た。</li> <li>一般受験250名、国公立51名志願。</li> <li>国公立25名、早慶上理15名、GARCH72名(3/31現在)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互の授業観察だけでなく、教科研修会に落とし込む方策を検討する。</li> <li>キャリアガイダンスや大学出張講義のみならず、教養講座を開催し、生徒の興味関心の幅を広げることも大切である。</li> <li>私立難関大学の合格者が倍増し、国公立も後期試験まで粘り強く、受験している。今後も引き続き、生徒の進路希望の実現に努めることが必要である。</li> </ul>
4	品格ある生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>明るくさわやかな挨拶を徹底するよう指導することが必要。</li> <li>身だしなみ指導と遅刻指導を一層進める必要がある。</li> <li>ネットモラルの構築や、それに関わるいじめを許さない指導の徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登校指導をはじめ、全教職員が率先してあいさつの励行に努める。</li> <li>服装検査のみならず、通常の生活の中での指導を徹底する。</li> <li>ネットモラルの講義をはじめホームルーム等で指導し、いじめに繋がらないよう指導の徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒は明るく爽やかな挨拶ができるようになったか。</li> <li>服装頭髪といった身だしなみ指導は徹底できたか。</li> <li>生徒指導件数、ネットトラブル件数はゼロであったか。</li> <li>遅刻指導の徹底を図ることで遅刻数は減少傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の挨拶、身だしなみはおおむね整えられている。</li> <li>生徒指導件数は1件、大きなネットトラブルはなかった。</li> <li>遅刻指導の徹底を図ることで遅刻数は減少傾向にある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍ではあるが、生徒に声を出してしっかりととあいさつできるよう指導する。</li> <li>生徒や社会情勢の変化に伴い、生徒指導の在り方を見直す必要がある。</li> <li>ネットトラブルなどは悪意がなくても起こることがあり、先生には指導を徹底して欲しい。</li> <li>おおむね、生徒指導上の問題がなくて良かった。コロナ禍から開放していく段階での指導が必要になると考えられる。</li> </ul>
5	特別活動・部活動の充実・振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動において「自主・自立・自学・協同」の精神の涵養が図れるような指導が必要。</li> <li>コロナ禍の中での部活動や学校行事に工夫をすることが大切。</li> <li>運動部のみならず文化部の振興を図る。</li> <li>コロナの感染状況を見ながら、工夫して文化祭、体育祭の実施を目指し、生徒の学校生活への意欲を高め武南学園への帰属意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒各自が自主的・計画的に時間を管理できるよう指導する。</li> <li>部活動休養日の設定による家庭学習の確保と部活動の活性化を図る。</li> <li>管理職による部活動見学を行い、実態の把握と支援を行う。</li> <li>文化祭、体育祭、修学旅行は工夫して実施できたか。</li> <li>文化部の活動の活性化と振興は図れたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の加入率。</li> <li>部活動加入生徒の成績状況はどうであったか。</li> <li>関東大会、全国大会の出場者数と前年度の活動結果を上回った部活動数。</li> <li>文化祭、体育祭、修学旅行は工夫して実施できたか。</li> <li>文化部の活動の活性化と振興は図れたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の加入率は84.3%(前年比+7.1%)</li> <li>部活動成績、関東大会出場4部活、インターハイ出場3部活、入賞4種目。ダンス部全国大会優勝(文部科学大臣賞受賞)</li> <li>文化祭、体育祭3年ぶりに実施。修学旅行3コースとも実施。</li> <li>コロナ感染対策と部活動の両立を果たした。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も新入生に部活動加入を勧め、建学の精神の一層の涵養に努める。</li> <li>部活動の休養日の設定と家庭学習の確保の検討を行う。</li> <li>管理職による部活動見学を引き続き実施し実績の把握に努める。(運動部15、文化部1)</li> <li>文化祭、体育祭の保護者公開を視野に入れて計画する。</li> <li>海外修学旅行再開の検討を始めめる必要がある。</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価	
実施日 令和5年3月22日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>相互の授業観察や教科毎の分析、フィードバックは良い取組であり、授業改善への研究により、授業の充実を期待する。</li> <li>他校の情報を得て、いいものを取り入れる、違いをみるとして積極的に学校改革を進めてもらいたい。</li> <li>学習の習慣を身に付けるのは本当に難しいと思うが繰り返し伝えて欲しい。学年で足並みをそろえる指導を続けてもらいたい。</li> <li>開かれた学校づくりに向けた発信が容易になった側面と個人情報保護の視点から難しくなった側面の両面があるので留意してもらいたい。HPや公式インスタグラムによる効果の検証ができた際には公開して欲しい。</li> <li>引き続き、中学校を訪問し適切な情報の提供に努める。</li> <li>SNS活用は、生徒・保護者・受験生・近隣の方など、対象に合う発信をお願いしたい。</li> <li>ITに頼る公開方法もあるが、実際に見聞きした体験にはかなわないで参考型がのぞましい。</li> <li>授業公開のアカウントは保護者が学校に意見を伝えれる貴重な手段なので尊重して欲しい。</li> </ul>	